

淡路島芸術村の推進

I 地域社会の諸案件

- 1 人口問題
 - イ 若年層の流出 - 雇用促進
 - ロ 高齢者層の還流 - 村づくり・長寿村
 - ハ 新住民の定住 - 企業・余暇産業
 - ニ 短・中・長期滞在 - レジャー関連

- 2 環境問題
 - イ 水資源・太陽エネルギー
 - ロ 山林・農村と環境整備
 - ハ 都市化と自然の調和
 - ニ 海辺・ウォーターフロントの利用

- 3 文化問題
 - イ 伝統文化
 - ロ 近代文化
 - ハ 情報文化
 - ニ ハイテク文化と統合

II 芸術村計画の諸案件

- 1 芸術村と地域特性
 - イ 京阪神都市圏の背景
 - ロ 京阪神文化圏との関連
 - ハ 関西新空港とのアクセス
 - ニ 明石海峡大橋の完成による交通アクセス
 - ホ 日仏モニュメントとの関連
 - ヘ 明石海峡大橋完成記念博その他事業との関連

- | | | | |
|---|----------|---|-----------------|
| 2 | 芸術村の実現性 | イ | 芸術のプロダクティビティ |
| | | ロ | 地域的適合性 |
| | | ハ | 移住者の生活的インフラの整備 |
| | | ニ | 芸術空間の確保 |
| 3 | 芸術村の交流性 | イ | 淡路島と関西文化圏 |
| | | ロ | 淡路島と東京文化圏 |
| | | ハ | 淡路島と国際交流性 |
| | | ニ | 二十一世紀の芸術核 |
| 4 | 芸術核の可能性 | イ | ハイテク文化の交流センター |
| | | ロ | 教育的機能と方向性 |
| | | ハ | 芸術発表の方法論 |
| | | ニ | 新しい誘因物質とは何か |
| 5 | 芸術村の環境整備 | イ | 思索的自然性 |
| | | ロ | 工房機能と実験空間 |
| | | ハ | 収蔵機能 |
| | | ニ | 発表展示機能 |
| | | ホ | ファッション環境（衣・食・住） |
| | | ヘ | 教育機能 |
| 6 | 芸術村の経営 | イ | 土地の確保 |
| | | ロ | 諸施設の準備（ロフト、古工場） |
| | | ハ | 生活機能の誘導 |
| | | ニ | 運営経費の準備 |

7 芸術村と産・官・学

- イ 芸術村とアートレジヤ村
- ロ 小・中・高の臨芸学校
- ハ アートカルチャーセンター（生涯学習と芸術）
- ニ 芸術実験研究所（企業とのジョイント）
- ホ 21世紀型学芸員の研修
- ヘ 感性研究機関との連携（関西研究学園都市）
- ト 文化産業担当者との交流